

基本目標Ⅴ 国際的協調と国際理解の推進

<注>

- ・ 予算額の「－」は、事業としては行うが、その事業のみでの予算額の算定は困難なものを表す。
(例) 公共施設建設の際の高齢者への配慮など

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 1 国際的協調の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
180	男女平等参画に関する国際的な条約等の周知推進	国際社会における様々な取り組みと密接な関係にある条約等について、国際的協調のもと周知を図っていく。	図書・資料コーナーを整備し、周知を図った。 また、国際社会から見た日本の男女平等参画について啓発するために、男女平等参画課の掲示板に、日本の「ジェンダー・ギャップ指数」「ジェンダー不平等指数」などの国際順位を紹介した。	評価 B 前年度と同様に実施した。	—	引き続き周知を図る。	男女平等参画課
181	国際会議への市民の参加の支援	世界的視野で男女平等参画社会を推進するため、国際会議への市民の参加を支援する。	実績なし	評価 B	—	引き続き支援を図る。	男女平等参画課
182	人づくりを通じた国際協力の推進	JICA等の活動について、市報による啓蒙・広報活動の支援	広報みと3月15日号及び協会ホームページに、青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集記事を掲載	評価 B 主催者側のJICAと協議の上、広報協力を行うものである。前年度と同様、H24年度についても広報活動を行った。	—	広報みと等に記事掲載	地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
183	国際理解のための講座の開催	世界各国の生活・文化・歴史等の理解を深める。	<p>【国際理解講座の開催】</p> <p>(1) 世界の料理講座～つくってみよう世界の料理～ 外国人市民を講師として招き、世界の様々な国や地域の料理を通して、それぞれの国の文化や習慣を学んだ。</p> <p>①中国東北編 期日：平成24年6月16日(土) 対象：一般 内容：醬炒肉糸(チンジャオロウスー)(豚肉の甜麵醬炒め)、宮保鶏丁(ゴンパオジーディン)(鶏肉とピーナッツのピリ辛炒め)、土豆絲(トゥドウスー)(細切りじゃがいもの中華炒め)、榨菜肉絲蛋花湯(ザーツァイロウスーダンホアタン)(ザーサイと肉と卵のスープ)といった中国・東北地方の家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講師：高井 英花(遼寧省出身、茨城県国際交流協会言語スタッフ) 受講者数：20人</p> <p>②ロシア編 期日：平成24年10月20日(土) 対象：一般 内容：ボルシチ(煮込みスープ)やブリヌイ(ロシア風クレープ)といったロシアの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講師：アニシモア・アリョーナ(ウラジオストク出身) 受講者数：18人</p> <p>③フィリピン編 期日：平成25年2月9日(土) 対象：一般 内容：シニガン ナ バブイ(鶏肉のスープ)やトルタン タロン(茄子のオムレツ)、ピナックベック(野菜の炒め煮)といったフィリピンの家庭料理の実習及び文化の紹介を行った。 講師：平野 ソリータ(マニラ出身) 受講者数：19人</p> <p>(2) 青少年のための国際理解講座ー「サマークラス for ジュニアー韓国編」 次世代のグローバル社会を担う青少年を対象に、外国語や外国文化に触れる機会を設け、広い視野を持った国際感覚を育むことを目的に講座を開催した。 期日：平成24年8月26日(日) 対象：小学校高学年～中学生 内容：ドラマや音楽を通じ、小中学生にとって身近な国である「韓国」をテーマに、簡単な語学学習を交えながら韓国の文化を学んだ。 講師：金(キム) 妮廷(ミジョン)(茨城大学留学生) 受講者数：9人(小学生2人、中学生4人、保護者3人)</p> <p>(3) 世界の歩き方講座 各分野の専門家を講師として招き、世界の文化、歴史、社会、そして現地の歩き方などを学ぶことを通じて、国際理解を深めた。</p> <p>①イギリス(ロンドンオリンピック)編 期日：平成24年7月3日(火)、10日(火) 対象：一般 内容：夏季オリンピック開催に合わせ「もっとも楽しむロンドン五輪」と題し、英国発祥のスポーツを中心に、五輪の開催国であるイギリスの歴史や文化、街の見どころなどについて理解を深めた。 講師：小林 英美(茨城大学教育学部准教授) 受講者数：48人</p> <p>②イタリア編 期日：平成24年10月31日(水)、11月7日(水) 対象：一般 内容：中部イタリアの古都フィレンツェに焦点をあて、絵画・彫刻・建築を中心にイタリアの文化や歴史、街の楽しみ方などについて理解を深めた。 講師：甲斐 教行(茨城大学教育学部教授) 受講者数：66人</p>	<p>評価 B 前年度同様、定期的に市民向けの国際理解講座を開催した。</p>	842	<p>(1) 親と子の国際理解講座 6月、12月</p> <p>(2) 青少年のための国際理解講座 7月</p> <p>(3) 国際理解のつどい 10月</p> <p>(4) 世界の歩き方講座 7月、9～10月、1～2月</p> <p>(5) 世界の文化と芸術講座 1月～2月</p> <p>(6) 世界の料理講座 年3回</p> <p>(7) ホビングリッシュ講座 7月、10月、12月、2月</p> <p>(8) 簡単 語学講座 随時</p>	地域振興課 (国際交流協会)
					304		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
183	国際理解のための講座の開催		<p>③ドイツ編 期日：平成25年1月29日(火)、2月5日(火) 対象：一般 内容：南ドイツの大都市ミュンヘンやバイエルン地方の諸都市に焦点をあて、歴史や文化、史跡、文化遺産の話を中心にドイツ諸都市の魅力、街の楽しみ方などについて理解を深めた。講師：池谷 文夫(茨城大学教育学部教授) 受講者数：88人 (4)ホビングリッシュ講座 「ホビー(趣味)」と「イングリッシュ(英語)」を合わせた造語「ホビングリッシュ」。毎回異なったテーマを取り上げ、外国人講師とともに英語で取り組むことにより、参加者が自然な英会話を楽しみ、講師との交流から外国文化への理解を深めることを目的として実施した。</p> <p>①ブラジル編 期日：平成24年10月27日(土) 対象：一般(英語初級者向け) 内容：ブラジルの代表的なデザート”ブリガデイロ”(チョコレート菓子)作りを中心に、ブラジルの文化や生活習慣などについて英語で学んだ。 講師：ポール・ゴンサルベス(水戸市英語指導助手) 受講者数：15人</p> <p>②文学編 期日：平成24年11月17日(土) 対象：一般(英語上級者向け) 内容：アメリカの現代小説であるスーザン・コリンズ著”The Hunger Games”(ハンガー・ゲーム)を原書で読み、小説の朗読や英語での議論を通して小説への理解を深めるとともに、英語の本を読む際のコツなどについて学んだ。 講師：ケンドン・ムラル(水戸市英語指導助手) 受講者数：19人</p> <p>③スロバキア編 期日：平成24年12月15日(土) 対象：一般(英語初級者向け) 内容：スロバキアの歴史や文化、街の見どころ、クリスマス・シーズンの過ごし方などについて英語で学んだ。 講師：ロナルド・シュミットファイリック(茨城大学人文学部准教授) 受講者数：25人 (5)親と子の国際講座(水戸ユネスコ協会青年部と共催) 小学生とその保護者を対象に、外国や日本の文化に触れることを通して、相互理解の精神を身につけ、多様な社会や文化の中で共に生きていく力を楽しみながら育むことを目的に実施した。</p> <p>①世界の誕生日の祝い方 期日：平成24年6月30日(土) 対象：小学生とその保護者 内容：誕生日に行うゲームやクイズなどを通して、世界各国の誕生日の祝い方について学んだ。また、誕生日に子どもが親に感謝のメッセージを贈るというイギリスの習慣を参考に、カード作製を行うとともに、各国料理作りを留学生と体験し、文化・生活習慣について学んだ。 受講者数：19人(子ども11人、保護者8人)</p> <p>②体験！世界の学校 期日：平成24年12月8日(土) 対象：小学生とその保護者 内容：「校舎・制服・給食・校則」の4つをテーマとして、世界の学校の様子についてクイズ形式で学ぶとともに、各国の子どもたちの代表的な遊びを実際に体験した。また、各国の料理の試食を通して留学生と交流し、楽しみながら国際理解を深めた。 受講者数：33人(子ども20人、保護者13人)</p>				地域振興課 (国際交流協会)

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
183	国際理解のための講座の開催		<p>(6) 国際理解のつどい(メサフレンドシップと共催) 期日：平成24年11月18日(日) 対象：一般 内容：「スリランカの生活と食、そして東日本大震災復興支援活動のこと」と題し、歴史や生活習慣、世界遺産などスリランカの魅力や講師が行っている東日本大震災復興支援の活動の様子などについて学んだ。 参加者数：63人(うち外国人4人)</p> <p>(7) クラシック音楽でめぐる世界の街講座(水戸芸術館音楽部門協力) 水戸芸術館音楽部門学芸員の協力により開催する連続講座。様々な時代において活躍した作曲家などに焦点をあて、当時の街並みや文化、歴史的背景について学んだ。 期日：平成25年2月14日(木)、21日(木)、28日(木)、3月7日(木) 対象：一般 内容：19世紀から20世紀にかけてヨーロッパで活躍した4人の作曲家に焦点をあて、クラシック音楽を通して文化や歴史的背景について学んだ。 講師：中村 晃(水戸芸術館音楽部門芸術監督)、関根 哲也(水戸芸術館音楽部門主任学芸員)、篠田 大基(水戸芸術館音楽部門学芸員) 受講者数：82人(うち外国人1人)</p>				地域振興課 (国際交流協会)
184	外国人と市民との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流パーティーの開催 国際理解のための外国人紹介 どようサロンの開催 	<p>(1) 国際交流パーティーの開催 市内及び水戸市近郊に在住する外国人市民と地元市民がお互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。 ①花火鑑賞会 期日：平成24年8月3日(金) 内容：花火大会(黄門まつり)の鑑賞、地元市民と外国人市民との交流 参加者数：101人(うち外国人46人) ②お月見パーティー(ラブニールと共催) 期日：平成24年10月6日(土) 内容：お月見をテーマに日本の文化紹介(着付け、けん玉、書道、折り紙、茶道)、地元市民と外国人市民との交流 参加者数：107人(うち外国人43人) ③新年パーティー(ラブニールと共催) 期日：平成25年1月19日(土) 内容：日本語教室生徒による発表会、地元市民と外国人市民との交流 参加者数：105人(うち外国人60人)</p> <p>(2) 国際理解のための外国人紹介 国際理解推進のため、市内の学校や公的機関等が、国際交流に関する講座等を開催する際に外国人市民を紹介した。 紹介数：9件(小学校5件、高校2件、その他の公的機関等2件) 紹介者数：19人</p> <p>(3) 地域との連携事業の実施 中心市街地の活気と賑わいの創出を図りながら、市民に世界の文化などに理解を深めてもらうため、地域団体等と連携・協力し、事業を行った。 ①「第1回世界チョコレートフェスティバル」の開催(協力) 東日本大震災復興支援チャリティーイベントとして開催された「世界チョコレートフェスティバル」において、記念パーティーへの協力を行った。</p>	<p>評価 A 前年度同様、外国人と市民が互いの文化を紹介し体験するとともに、交流パーティーを通して相互理解を深めることを目的として開催した。H24年度は、英語サロンを発展的に解消し、マルチリンガルとすることにより、自由度の高いサロンとなることを目指した。また、「第1回世界チョコレートフェスティバル」の開催への協力を行った。</p>	383	<p>(1) 国際交流パーティーの開催 時期：8月、9月、1月(年3回) (2) 国際理解のための外国人紹介 時期：随時 (3) どようサロンの開催 時期：毎月第1・3・4土曜日(月3回)</p>	地域振興課 (国際交流協会)
					238		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
184	外国人と市民との交流の促進		<p>期日：平成25年3月9日(土) 会場：水戸プラザホテル 内容：外国人市民参加への協力、ガーナ出身者による「アフリカンバンド」出演への協力 など (4) どうようサロンの実施 ①英語どうようサロン～English Smoothie～(常磐大学の協力) 英語を使つての外国人同士の情報交換や市民との交流サロンを毎月第1土曜日などに開催した。 実施回数：4回 参加人数：167人(うち外国人37人) ②どうようサロン～マルチリンガル～ 国籍や言語に捉われない交流の機会を提供し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の増進を図ることを目的に、毎月第1土曜日などに開催した。 実施回数：7回 参加人数：156人(うち外国人26人) ③韓国語どうようサロン～トコトン韓国～ 気軽に韓国語を使える機会を提供するとともに、韓国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第3土曜日などに開催した。 実施回数：12回 参加人数：253人(うち外国人42人) ④中国語どうようサロン～ニーハオ！中国～ 気軽に中国語を使える機会を提供するとともに、中国出身の市民を交えて、相互理解を図ることを目的に毎月第4土曜日などに開催した。 実施回数：12回 参加人数：175人(うち外国人52人)</p>				地域振興課 (国際交流協会)
185	国際交流に関する情報の収集及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙の発行(日本語版) ・外国及び日本の文化、国際交流等に関する図書・資料等を収集した図書コーナーの充実及びインターネットによる情報の提供 	<p>外国や日本の文化、国際交流等に関する図書、資料等を広く集め、市民や外国人に提供し、また機関紙及びホームページなどにより、情報の発信に努めた。 (1) 協会機関紙の発行 日本語版：年3回発行(5月、12月、3月：各2,000部作成) 市内公共施設、姉妹都市関係者及び寄付者などを中心に送付した。 (2) 広報資料の頒布 情報発信の一環として、協会作成のエコバッグ、クリアファイルといった広報用資料を頒布した。 (3) 図書、資料等の収集、提供 日本語教室用の教科書や国内外の図書及び資料等を収集し、提供した。 (4) パソコンの利用、提供 情報コーナーにパソコンを設置し、来館者に提供した。 パソコン利用：374件(うち外国人258件) (5) ホームページによる情報提供 ホームページによる協会の最新情報、事業内容、運営情報等を提供した。 アクセス数：20,178件</p>	評価 B 昨年度同様、機関紙の発行やホームページによる情報提供等を行った。	1,441	(1) 協会機関紙の発行 (2) 資料の収集及び提供	地域振興課 (国際交流協会)
					1,051		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
186	英語教育や国際理解教育の充実(再掲)	(再掲21)			(一)		総合教育研究所
187	民間団体(NGO)等の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流のつどいの開催 利用者団体連絡会の開催 日本語ボランティア団体連絡会(5団体/月)及び研修会の開催 	<p>(1) 国際交流のつどいの開催 市民及び外国人市民との交流の場を提供するとともに、市民の国際理解の推進を図った。また、「日本・スロバキア共和国 国交樹立20周年」に合わせ、スロバキア大使館や関係団体等と連携し、スロバキアの文化や最新情報を紹介する事業を同時に開催した。</p> <p>①各種パネル展の開催 期間：平成25年2月23日(土)～3月22日(金) 観覧者数：1,060人 ○国際交流団体活動紹介パネル展 内容：水戸市国際交流センターを拠点として活動する国際交流団体等の日頃の活動状況を紹介するパネル展を開催した。参加団体：18団体 ○スロバキア展 内容：スロバキアの基本情報や歴史、文化などを知ることができるポスターや写真パネル、出版物、工芸品、民族衣装などを展示した。また、スロバキア共和国駐日大使館 ドゥラホミール・シュトステ命全権大使が来館し、展示を視察するとともに、水戸市長と意見交換を行った。 協力：スロバキア共和国大使館、ロナルド・ファイリッケーシュミット(茨城大学人文学部准教授)</p> <p>②料理「スロバキア料理講座」の開催 期日：平成25年2月23日(土) 午前・午後 計2回 講師：シュミット ひろみ(市内在住) ロナルド・ファイリッケーシュミット(茨城大学人文学部准教授、スロバキア出身) 内容：家庭で作れる簡単なスロバキア料理(ザワークラウトスープ、バラチンキ)の作り方やスロバキアの文化について学んだ。 参加者数：35人(午前の部16人、午後の部19人)</p> <p>③講演会「知られざるスロバキアの魅力」の開催 期日：平成25年3月2日(土) 講師：ブラン斯拉ヴ・ボハバ(スロバキア大使館一等書記官) 通訳：ルシア・コヴァチョヴァ(青山学院大学院生、EUインターン) 内容：スロバキアの歴史や経済、文化、地域事情などについて、通訳を介して講演(スロバキア語・日本語 逐次通訳)。講演後は、講師及び同国出身の市内在住外国人との交流会を実施した。参加者数：56人</p> <p>④語り聞かせ「スロバキア民話のすばなし会」の開催 期日：平成25年3月9日(土) 協力：すばなしの会 みみずく 内容：本を持たず、物語を暗記して語り聞かせる「すばなし」を実施。今回は、スロバキア民話等4つの話のすばなしを行った。また、スロバキアに関連する書籍及び「スロバキア民話」(翻訳出版：シュミット茨城大学人文学部准教授)の原画の展示を行った。 参加者数：23人</p>	<p>評価 A 前年度は東日本大震災の影響により中止となっていたが、当年度は無事に実施することが出来た。国際交流のつどいに関しては、協会職員の工夫と努力により、内容を充実させることが出来た。</p>	266	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流のつどいの開催 国際交流団体連絡会の開催 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援 	地域振興課(国際交流協会)
					272		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
187	民間団体(NGO)等の交流活動の促進		<p>(2) 国際交流団体連絡会議 ボランティア団体間の情報交換やセンター利用などをテーマとして、水戸市国際交流センターを拠点として国際交流活動をしているボランティア団体の連絡会議を開催しているが、今年度は団体ごとに意見・要望等を把握し、そのつど個別に対応した。</p> <p>(3) 外国人に日本語指導をしているボランティア団体への支援: MIJネットワーク支援 水戸市国際交流センターを拠点として外国人に日本語を指導しているボランティア団体のネットワーク組織である「水戸市国際交流センターボランティア日本語教室ネットワーク(通称: MIJネットワーク)」の活動を支援した。 内容: 日本語ボランティア団体が、毎月第2木曜日に行う会議や定期的実施する研修会等の活動を支援した。</p> <p>研修会: ①「より効果的な日本語支援を目指して-新しい日本語指導の教え方など-」 期日: 平成24年9月23日(日) 講師: 新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会) 参加者数: 26人 ②「"Can-do" を取り入れた具体的な授業の進め方と指導方法」 期日: 平成25年3月10日(日) 講師: 新野 佳子(公益社団法人国際日本語普及協会) 参加者数: 20人</p>				地域振興課 (国際交流協会)
188	世界の諸都市との交流の促進	国際親善姉妹都市アナハイム市及び友好交流都市重慶市を中心に、相互理解、友好親善を目的に市民間の交流を深める。 ・アナハイム市訪問団派遣 ・アナハイム市訪問団受入 ・重慶市親善訪問団派遣 ・重慶市からの訪問団受入 ・重慶市青少年交流団受入	<p>(1) 国際親善姉妹都市アナハイム市との交流 ①アナハイム市親善訪問団の派遣 期間: 平成24年10月28日(日)~11月4日(日)8日間 派遣先: アナハイム、ヨセミテ、サンフランシスコ 内容: 市役所及び市長表敬訪問、市内施設視察(ゲディ・センター、タイガーウッズ学習センター、エンゼルスタジアム、アナハイム西高校、エクストロン・エレクトロニクス本社ほか)、ヨセミテ、サンフランシスコ市施設等の視察・見学、報告書発行 団員: 団長 高橋 靖(水戸市長)、副団長 村田 進洋(市議会議員) 団員 市民 男性7人 女性8人、市議会議員 男性1人、市職員 男性2人、協会職員 男性1人 女性1人、計 22人(男性13人、女性9人) ②アナハイム市親善訪問団受入(中止) アナハイム市側の申し出により、訪問団の受入れは中止となった。 ③アナハイム市との教育交流事業 アナハイム市から英語指導助手の受入(採用)に向けて、水戸市教育委員会と連携しながら、アナハイム市関係機関と各種調整、協議を行った。 採用者数: 5人(更新を含む) 採用時期: 平成24年4月1日</p> <p>(2) 友好交流都市重慶市との交流 ①重慶市親善訪問(民間)の受入 期間: 平成24年8月24日(火) 内容: 市長表敬訪問(水戸大使委嘱状交付式及び懇談)、市内視察(水戸市国際交流センター、偕楽園、水戸芸術館、千波湖) 来水者: 黄 茜(中日友好促進会副会長) ②重慶市青少年交流 日中国交正常化40周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、21世紀を担う青少年の友好交流の輪を広げることを目的として、「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」が開催され、選手団を派遣した。</p>	評価 B 親善訪問団の派遣などにより、友好親善を促進した。	1,394	(1) アナハイム市からの訪問団受入 (2) 重慶市親善訪問団の派遣 (3) 重慶市親善訪問団受入 (4) 重慶市青少年交流事業 (5) 他諸都市との交流	地域振興課 (国際交流協会)
					2,178		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 2 国際理解と国際交流の推進

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
188	世界の諸都市との交流の促進		派遣期間：平成24年8月16日(木)～8月21日(火) 6日間 派遣先：北京市 内容：卓球競技(水戸市・重慶市合同チーム)、表彰式及びレセプション、市内見学(万里の長城、天安門広場) 団員：4人(選手2人、監督1人、協会職員1人) 団長：王 偉亜(水戸市国際交流協会事務局長) 監督：平澤 善志幸(国田中学校教諭)				地域振興課 (国際交流協会)
189	ホームステイ事業の実施	国際親善姉妹都市アナハイム市等と、青少年を相互に派遣し、ホームステイ等を通じ相互の文化・習慣などについて理解を深める。	訪問団や学生親善大使の受入事業が中止となったため、ホームステイ事業を実施しなかった。	評価 C 訪問団や学生親善大使の受入事業は、相手国の事情を含めて調整のうえ、事業の実施を決定している都合上、ホームステイ事業を実施できない場合も想定される。	—	訪問団や学生親善大使の受入事業が実施されることが決定された場合、広報みや協会HPにより、ホストファミリー登録の募集を行う。	地域振興課 (国際交流協会)
190	学生親善大使事業の実施	・水戸市学生親善大使の派遣 ・アナハイム市学生親善大使の受入	(1) 水戸市学生親善大使の派遣 応募者：31人(中学生9人、高校生22人) 選考試験：平成24年5月25日(金) 書類選考、6月3日(日) 面接・集団討論 派遣期間：平成24年7月27日(金)～8月5日(日) 10日間 内容：アナハイム市でのホームステイ等を通じて、市民との友好交流、アメリカ合衆国の文化等の学習と体験、報告書発行 派遣人数：13人(中学生4人、高校生6人、引率1人、協会職員2人) 団長：森 久美子(緑岡中学校教諭) 結団式：平成24年7月15日(日) 研修：事前研修 平成24年7月1日(日)、8日(日)、15日(日) 事後研修 平成24年8月19日(日) (2) アナハイム市学生親善大使の受入(中止) 福島原子力発電所の事故の影響により、派遣を見合わせたいとのアナハイム市側からの申し出があり、中止となった。	評価 A 東日本大震災の影響により前年度は中止となっていた水戸市学生親善大使の派遣を再開することが出来た。一方で、福島原子力発電所の事故の影響への懸念から、アナハイム市学生親善大使の派遣が見合わせられるなど、震災の後遺症を拭い切れない現状にある。	2,113	(1) 水戸市学生親善大使の派遣 (2) アナハイム市学生親善大使の受入	地域振興課 (国際交流協会)
						2,652	

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
191	外国人を対象にした講座等の開催	外国人市民が水戸市や日本文化について理解を深める。 ・子ども向け日本語ボランティア講師の学校派遣事業 ・市内ウォッチング ・日本料理教室 ・スキー教室 ・防災訓練	<p>(1) 子どものための日本語ボランティア学校派遣 水戸市教育委員会と連携しながら、日本語指導を要する在住外国人の子どもを対象に、ボランティアが市立小・中学校へ出向き、日本語を指導した。また、団体が行う定例会や定期的実施する研修会等の活動を支援した。 ①日本語ボランティア学校派遣 対象児童・生徒数：18人 ボランティア数：12人 派遣学校：梅が丘小学校、五軒小学校、寿小学校、三の丸小学校、城東小学校、新荘小学校、千波小学校、吉田小学校、第二中学校、千波中学校 派遣回数：891回(夏期補習を含む) ② 勉強会 毎月第1・2・3木曜日に定例会を開催 ③ 研修会 期日：平成24年6月7日(木) 内容：「Can-do」による日本語指導評価法を行うために必要な日本語の指導方法」と「児童教育の日本語支援をする場合の留意点と実際の現場での指導方法」 講師：北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授) 参加者数：50人 (2) 外国人のための日本料理教室 日本料理を学ぶことで、日本文化への理解を深め、日本での生活を豊かにすることを目的として実施した。 ① AETのための日本料理教室(水戸市教育委員会と共催) 期日：平成24年8月16日(木) 対象：水戸市英語指導助手(AET) 内容：日本の夏の風物詩を楽しむ料理(流しそうめん、天ぷら、スイカ割り)の実習を通して、日本文化を学んだ。 講師：溝口 忠昭(日本料理店「松川」経営者) 参加者数：34人 ② 外国人のための日本料理教室(水戸ユネスコ協会協力) 期日：平成24年11月10日(土) 対象：外国人 内容：秋から冬の食材を使った定番の日本料理(けんちん汁、鶏肉の生姜風味、大学芋)の実習を通して、日本文化を学んだ。 講師：岡田 さかゑ(元中川学園調理技術専門学校講師) 参加者数：9人 (3) 外国人のためのスキー体験教室(水戸市役所スキー部協力) 雪に触れる機会の少ない外国人にスキー体験教室を通して、日本の自然の良さを知ってもらうとともに、外国人同士の親睦・交流を図ることを目的として実施した。 期日：平成25年2月15日(金) 対象：外国人 会場：エーデルワイススキーリゾート(栃木県日光市) 講師：水戸市役所スキー部員3人 参加者数：11人 (4) 外国人のための市内ウォッチング 外国人市民に水戸市の公共施設などを知ってもらい、今後積極的に利用してもらうとともに、参加者同士の交流を深めることを目的として実施した。 期日：平成24年11月29日(木) 対象：外国人 内容：水戸市や近郊の食の魅力を知ってもらうため、生産現場を見学した。また、水戸の新しい魅力を知ってもらうため、映画のロケ地として注目が集まる「七ッ洞公園」を見学した。 訪問先：お菓子夢工場(水戸市見川町)、木内酒造(那珂市)、そば打ち体験(水戸市森林公園内)、七ッ洞公園(水戸市下国井町) 参加者数：17人</p>	<p>評価 B 昨年同様、外国人市民に対し、水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうため、各種事業を行い、相互理解を深めた。また、災害弱者となりやすい外国人のために防災対策事業を行った。</p>	1,268	<p>(1) 子ども向け日本語ボランティア講師の学校派遣 (2) 日本文化体験と市内ウォッチング (3) 日本料理教室 (4) スキー体験教室 (5) 防災訓練</p>	地域振興課 (国際交流協会)
				1,130			

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
191			<p>(5) 防災訓練 火災、地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう大地震を想定し、地震及び火災の避難訓練や初期消火の訓練を行った。</p> <p>① 6月期 期日：平成24年6月29日(金) 参加者数：18人(外国人3人，ボランティア等6人，協会役職員9人)</p> <p>② 12月期 期日：平成24年12月14日(金) 参加者数：14人(外国人5人，協会役職員9人)</p> <p>③ AED講習会(水戸地区救急普及協会協力) 内容：AED(自動対外式除細動器)の使用方法や心肺蘇生法の訓練を行った。 期日：平成24年11月30日(金) 参加者数：10人(外国人2人，協会役職員8人)</p>				地域振興課 (国際交流協会)
192	外国人の相談体制の整備・充実	生活様式や習慣の違いなどから生じる悩み事の相談に対し、アドバイスや情報を提供する窓口を設置する。 (随時、職員が対応)	相談窓口の常設 相談内容：在留資格・外国人登録制度の改正に関する事、労使間のトラブルに関する事、就職、日本語学習、ボランティア活動、翻訳に関する事など 相談者数：408人(うち外国人200人) 相談件数：408件(電話相談225件，来館相談183件)	評価 B これまで同様、国籍等を問わず生活様式や習慣などの違いから生じる悩みなどの相談に対し、アドバイスや情報を提供した。	—	相談窓口の常設	地域振興課 (国際交流協会)
193	外国語による公共表示の推進	公共表示の所管部署に対し外国語による表示の推進を働きかける。	市内公共施設等の名称看板や案内板・ガイドマップにおける英語表記の実施	評価 B 水戸市サインマニュアルに基づき、公共施設等の看板については、外国語の併記を促している。 一方で、サインマニュアルは公共施設等のサイン計画における手引きであることから、強制力が伴うものではないため、関係団体への徹底を図ることが難しい。管財課をはじめとする関係各課及び各種関連団体への周知を図ることが必要である。	—		地域振興課

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進

主要課題 1 国際社会への参画促進

主要施策 3 市内在住外国人の支援

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度 事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
194	外国語による情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 生活ガイドブック、英文地図の提供 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供 機関紙（3か国語版）の発行 協会ホームページ（英語、中国語、ハングル）による情報提供 	<p>（1）生活ガイドブック、英文地図の提供 英語と日本語併記の水戸市の生活ガイドブック（GUIDEBOOK FOR LIVING IN MITO）；英語で表記された水戸市の地図（MITO CITY GUIDE MAP）を提供した。</p> <p>（2）英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供 英語で表記された水戸市内の避難場所地図及び地震などに対する防災マニュアルの提供を行った。（水戸市英文地図に掲載）</p> <p>（3）機関紙の発行 3か国語版（英語、中国語、ハングル）1,000部を作成し、外国人市民等に配布した。</p> <p>（4）協会ホームページによる情報提供 多言語（英語、中国語、ハングル）による情報提供を行った。</p> <p>（5）外国人のための生活情報紙（Culture Pot MITO）の発行 水戸市に住む外国人に対して、生活に役立つ情報をわかりやすく届けるとともに、水戸市への理解を深めてもらうことを目的として、隔月の生活情報紙を発行した。（発行言語：英語版・ルビ付日本語版）</p>	<p>評価 B これまで同様、外国語による情報の提供を行った。</p>	128	<ul style="list-style-type: none"> 生活ガイドブック、英文地図の提供 英語版避難場所地図／防災マニュアルの提供 機関紙（外国語版）の発行 協会ホームページによる情報提供 外国人のための生活情報紙（Culture Pot MITO）の発行 	地域振興課 （国際交流協会）
					111		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
195	国際平和に関する展示等の開催	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に基づき、各種の平和事業を実施し、国際平和への意識啓発を図る。また、平和記念館において平和に関する展示を行うことにより、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識の高揚を図る。	1 「わたしたちの平和」作文コンクール 市内の小学5年生から中学3年生までの児童、生徒を対象に実施。 応募総数11,956点 2 平和大使派遣 平和作文コンクール優秀者12人を平和大使として広島市へ派遣し、平和記念式典への参加等を行った。 (8月5日～7日) 3 平和記念館での戦災資料の展示 (来館者数1,762人) 4 語り部派遣による戦災体験講演 開催回数：14回 参加人数：1,140人 5 び～すプロジェクト 平和記念館、博物館、芸術館の3館の連携で、平和に関するイベントを集中的に実施した。 ・「土門拳」写真展(平和記念館) ・戦災体験講演会「わたしは戦争を忘れない」(博物館) ・バンド演奏、水戸空襲の映像と体験文、詩の朗読、語り部の体験談をコラボレーションした公演 (ライブハウス)	評価 A 多くの小中学生が平和作文コンクールや語り部講演へ参加したことにより、子どもたちが平和について考えるきっかけづくりができた。また、び～すプロジェクト等の開催により、幅広い世代の平和意識の高揚を図ることができた。 今後も、平和に関する各種事業を推進し、あらゆる世代における平和意識の醸成を図っていくことが必要である。	7,425	1 「わたしたちの平和」作文コンクール 2 平和大使派遣 3 語り部派遣による戦災体験講演 4 平和記念館での戦災資料の展示 5 び～すプロジェクト	総務法制課
					11,327		

基本目標 V 国際的協調と国際理解の推進
 主要課題 1 国際社会への参画促進
 主要施策 4 国際平和・地球環境保全への貢献

No	具体的事業	事業の概要	平成24年度事業実績	事業の進捗状況	平成24年度 決算額(千円)	平成25年度事業計画	担当課
					平成25年度 予算額(千円)		
196	地球環境問題の啓発	地球温暖化対策について、水戸市地球温暖化対策実行計画に基づき市域全体の温室効果ガス排出量を削減するため、市民・事業者・行政が一体となった取組を実施していく。	<p>○温暖化対策度チェック 市民向けのアンケート形式のチェックシートにより、温暖化対策に役立つコツを紹介する事業を実施した。</p> <p>○エコライフチャレンジ 家庭での省エネ対策として電気の使用量に着目し、昨年同月や他の参加者と使用量を比較することにより、自身のエネルギー使用に関心を持ってもらう取組。市内の全世帯を対象としたほか、環境教育の観点から小学校の4年又は5年生を対象として実施した。</p> <p>○メガソーラーみと発電所 市内の住宅、事業所等に設置されている太陽光発電を水戸のメガソーラーと仮定し、発電能力等を公表する事業を実施した。</p>	<p>評価 B 平成24年3月に温暖化対策実行計画を策定したことから、各施策を実施した。</p>	488	<p>おおむね昨年度と同様であるが、実施後の反省点から内容については改良を加え、より効果の高い事業の実施を目指していく。</p>	環境課
					871		
197	環境に配慮した施策の推進	地球温暖化を防止することや、雨水の有効利用及び地下浸透による地下水の涵養を促進し良好な水環境を創造することなどを目的とし、取組者に対して補助金を交付する制度を設けることにより、環境に配慮した機器等の普及促進を図る。	<p>○住宅用太陽光発電システムの設置補助 補助件数 404件 補助額 39,063千円</p> <p>○雨水貯留・浸透施設設置補助 補助件数 34件 補助額 762千円</p> <p>○高効率給湯器設置補助 補助件数 30件 補助額 3,004千円</p>	<p>評価 B これらの補助制度により、住宅用太陽光システム及び雨水貯留・浸透施設の設置を助成し市内の設置箇所数を増加させることは、地球温暖化対策や地下水の涵養という直接的な効果だけでなく、未設置の市民への普及啓発効果も期待される。</p>	42,829	<p>○住宅用太陽光発電システム設置費補助制度 (42,000千円)</p> <p>○雨水貯留・浸透施設設置費補助制度 (1,000千円)</p>	環境課
					43,000		
197	環境に配慮した施策の推進	毎日の生活の中で無理なくできるごみの減量・リサイクルの手法紹介とその実践を通して市民の方々にその大切さを認識してもらう。	生ごみリサイクル講習会 平成24年9月30日(日) 27名参加	評価 B	9	EMボカシ活用講習会	ごみ対策課 市民生活課
					400		